離陸前に訪れた終戦

羽村 元一 さん (98)

に志願しました。

もともと飛行機が好きで、



ることができます。

大正15 (1926) 年生まれ

▲インタビューの様子 を YouTube で視聴す



▲志願した頃の元一さん (17歳)

ました。 昭 和 16 中学校2年生相当)に入学し、 西多摩国民学校(今の小学校~ です。昭和8(1933) 1年ほど働いた後、 (1941) 年に卒業し 立川の軍需工場に就職 年に

かったです。 6時起きで、 流だとか微分積分だとか、 行っていたような人ばかりの中 した。実技はともかく、 訓練は厳しかったですね。朝 私には座学が本当に難し 勉強や訓練をしま 飛行機だから、 大学に 気

■飛行機が好きで志願

■飛行学校での生活

寄宿舎に入りました。

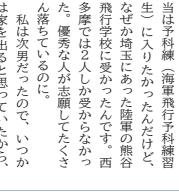
ました。 お国に捧げた体だと思ってね。 する余裕がありませんでした。 羽村の家族のこともあまり気に もだったから、毎日無我夢中で、 まずい食事でもみんな食べてい ら腹が減ってしょうがなくて、 まだ16歳くらいで子ど

んです。 桶川分教場に回されて、 瞬間的に判断しないといけない 今皆さんが乗る乗用車、 か上昇は何度だとか、パパっと いっぱい付いていて、 もんじゃないからね。 そうこうしているうちに、(特 速度計と

攻隊の訓練基地になっていた) そこで



▲趣味の俳句を短冊にしたためたもの。 左の1枚は特攻に出て亡くなった戦 友を偲んで、終戦記念日に詠んだ。 「空に散りし 戦友の追憶 終戦日」



前は馬鹿だよ。特攻隊なんかに 志願したんです。同級生には「お は家を出ると思っていたから、 いぶん止められましたけど。 行ったら死んじゃうぞ」ってず

> 飛ばされたこともありました。 達者じゃなくて船の上から突き

したよ。 ラに頭を突っ込んだんです。 なに叩かれなくて済みました。 で、そこで点数を上げて、そん あんまり訓練が厳しいから、 い詰められて自殺した人もいま 私は機関銃が好きだったの 飛行機の操縦は難しかった。 自分で飛行機のプロペ 計器が あんな 追

> 族とかには相当な被害が出ると 害が出る。たとえ勝っても、 ■戦争を知らない世代に 戦争は、 伝えたいこと 勝っても負けても被

よ。戦争に負けてがっかりしてなずに帰れるなと思いましたた。まだ訓練中だった。俺も死 なかったな。 出撃していたので、終戦があと ているところでした。 少し遅かったら、自分も出撃し いるような学生は、 教官や先輩たちは特攻として 周りにはい

家

する。 争だけはしちゃ駄目だと思いまり、戦

戦争体験と聴

いない時代になりました。しかし、世界のあちこちではいまだに戦争が起こり、たくさんの方が戦禍に遭っ日本がポツダム宣言を受諾し太平洋戦争が終結してから、 80年になります。 多くの日本人が戦争を経験し

その悲劇を教訓に、平和の大切さを再認識する必要があるのではないでしょうか. その中から5人の方のお話を紹介します(年齢は取材時)。 私たちが過ごして 後80年の平和啓発事業として今回、市内にお住まいで戦争体験のある方にお話を伺うことができました いる平穏な毎日も、過去の多くの犠牲の上に成り立っています。 戦争の悲惨さを知り

問合せ 総務課総務係内33/秘書広報課広報・シティプロモーション係内37



▲息子の莨蔔さんと「はむら千羽鶴 プロジェクト」に協力

■玉音放送は桶川で

玉音放送は桶川で聞きま

▲羽村駅で出征を見送る人々(郷土博物館所蔵)

ontents

戦後80年が過ぎて〜戦争体験を 聴く~

戦後80年ミニコラム/市民ス ポーツまつり参加者募集!

P 6 ~ 10

お知らせ/学校再編~子どもた ちの明るい未来に向けて~

P 11 ∼ 12

情報アラカルト

P 13 ∼ 14

こそだて掲示板

夏季花いっぱいコンクール審査 結果/はい!こちら消費生活セ ンター

表紙の写真

「はむら千羽鶴プロジェクト」に 寄せられた折鶴

「はむら千羽鶴プロジェクト」には、 市民の皆さんの平和への願いが込め られた折鶴が、2000羽以上集まりま した。

撮影日 2025/7/25



▲千羽鶴は、青梅・羽村ピースメッ センジャーなどにより広島市に届 けられます。(青梅・羽村ピースメッ センジャー出発式で。2025/7/29 撮 影・青梅市役所)